



にゅーすれたーふじやま・長泉 ホワイトリボンラン2019富士



2019. 3

パナソニックエイジフリーショッブ

「走ろう。自分のために。誰かのために。」国際 NGO ジョイセフによる、発展途上国妊産婦支援の取組み「ホワイトリボンラン」に賛同しています。富士市拠点としても「富士市で生みましょう、育てましょう、私たちは応援します！」のスローガンを掲げ、3月2日(土)10:00“富士市中央公園”をそれぞれにスタートしました。赤いバンダナのベビーたちはお母さんとベビーカーに乗ったり、自分で歩いたりして、富士市役所屋上「ミエルラ」を目指しました。絵馬に願いを託し、記念撮影もしました。市役所の男女共同参画の皆さんには大変お世話になりました。



一方、青いバンダナはちょっと大きな子どもたちです。パパやママ、おじいさん、おばあさんなど家族でファンランを楽しみながら、六所浅間神社(三日市)を目指しました。神社では厄割玉をもらって、厄払いのために投げてきました。神社から子どもたちにお菓子のプレゼントをいただきました。櫻井宮司様ありがとうございました。



黒いバンダナのおじさん、おばさん、お兄さん、お姉さんたちはそれぞれの格好をして、吉原商店街を目指しました。商店街では内藤金物店さんから飴をいただきました。まな板を購入する人もいました。そのまな板を抱えてゴールし、楽しい楽しいファンランでした。吉原商店街の皆さんラジオエフ、ラクロスさんご協力ありがとうございました。



ジョイセフの発表によりますと、今回、日本では、全国38拠点で開催され、3,183名ものエントリーがあり、エントリー費(Tシャツ1枚3000円)からの寄付額は530万円にのぼったそうです。富士拠点は、その中で、メイン会場の大阪につぐ、全国2番目の200名を超えるエントリーで、当日のご来場は300名以上を数え、盛大に開催させていただきました。協賛いただいた企業様、ボランティアの皆さん本当にありがとうございました。今回の特記事項は、メディアの方の全面的お力添えです。NHK、テレビ静岡、静岡第一テレビで放映され、静岡新聞、岳南朝日新聞、富士ニュースでも記事にいただきました。さて、私たち NPO 法人「楽しいことやら座」は、すでに来年に向けてスタートしました。皆様方のさらなるご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

渡邊啓視